



2022年3月期 通期決算説明資料

株式会社イントラスト
〈証券コード：7191〉



1. 2022年3月期 業績
2. 2023年3月期 会社計画
3. 会社情報

1. 2022年3月期 業績

家賃債務保証の成長が寄与し、売上は大幅増収
 医療費用保証におけるコロナ影響想定以上により計画未達
 営業利益は貸倒コスト及びセンター開設関連コストを吸収し増益確保

売上は**117.6%**の増収
 営業利益は**103.0%**の増益

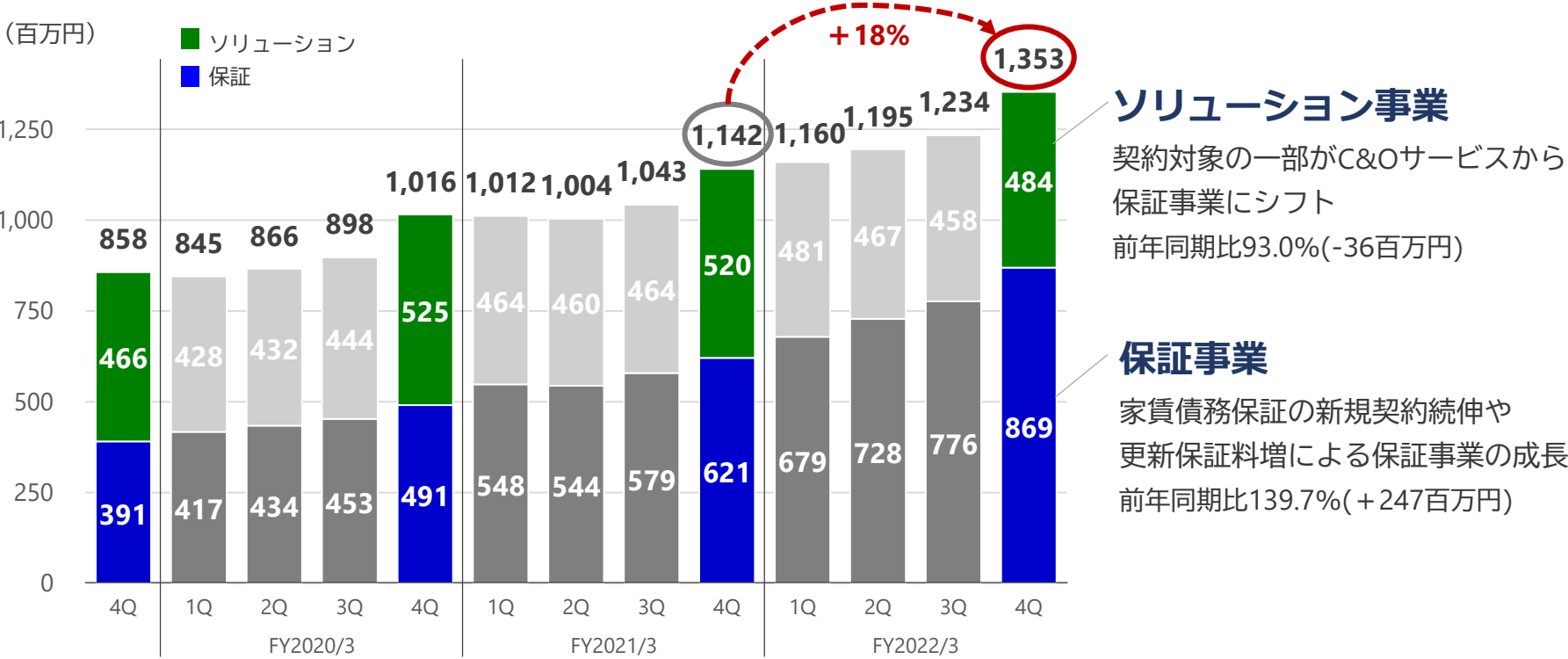
- 家賃債務保証の成長(前期比143.3%)により、大幅増収
- 医療費用保証は想定超の上期コロナ禍営業制約により、計画未達
- 家賃債務保証の成長に伴う代位弁済の増加により貸倒コストが増加
- センター開設及び横浜ソリューションセンター閉設に係る一過性の費用発生

(百万円)	2022/3 実績	2021/3 実績	前期比	2022/3 予算	計画比
売上高	4,943	4,203	117.6%	5,000	98.9%
営業利益	1,184	1,149	103.0%	1,270	93.3%
(利益率)	24.0%	27.4%	-	25.4%	-
経常利益	1,179	1,153	102.3%	1,275	92.5%
(利益率)	23.9%	27.4%	-	25.5%	-
純利益	779	760	102.5%	835	93.4%
(利益率)	15.8%	18.1%	-	16.7%	-

売上高の四半期推移

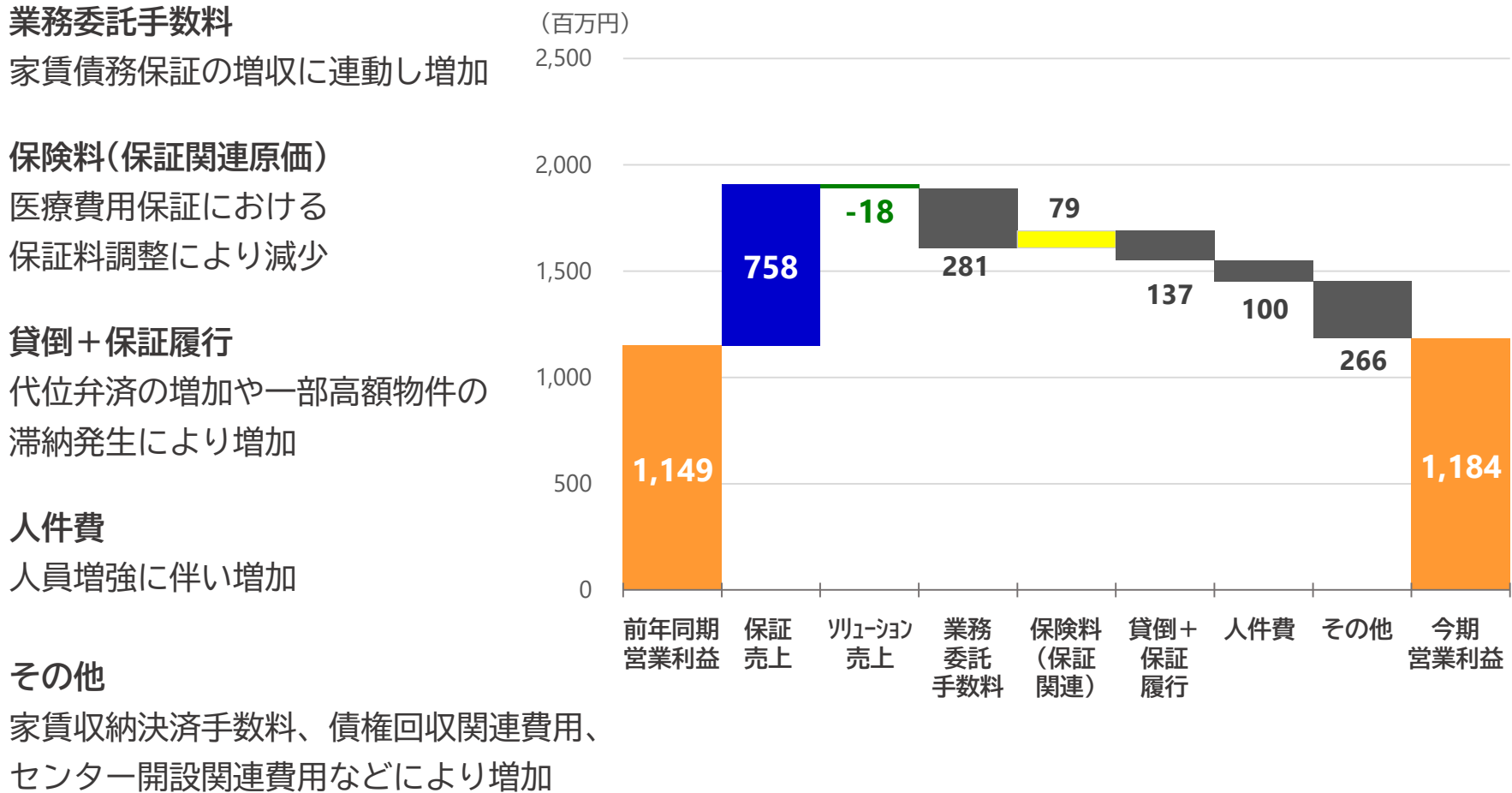
売上は保証事業が大幅成長を維持

前年同期比118% (+210百万円)

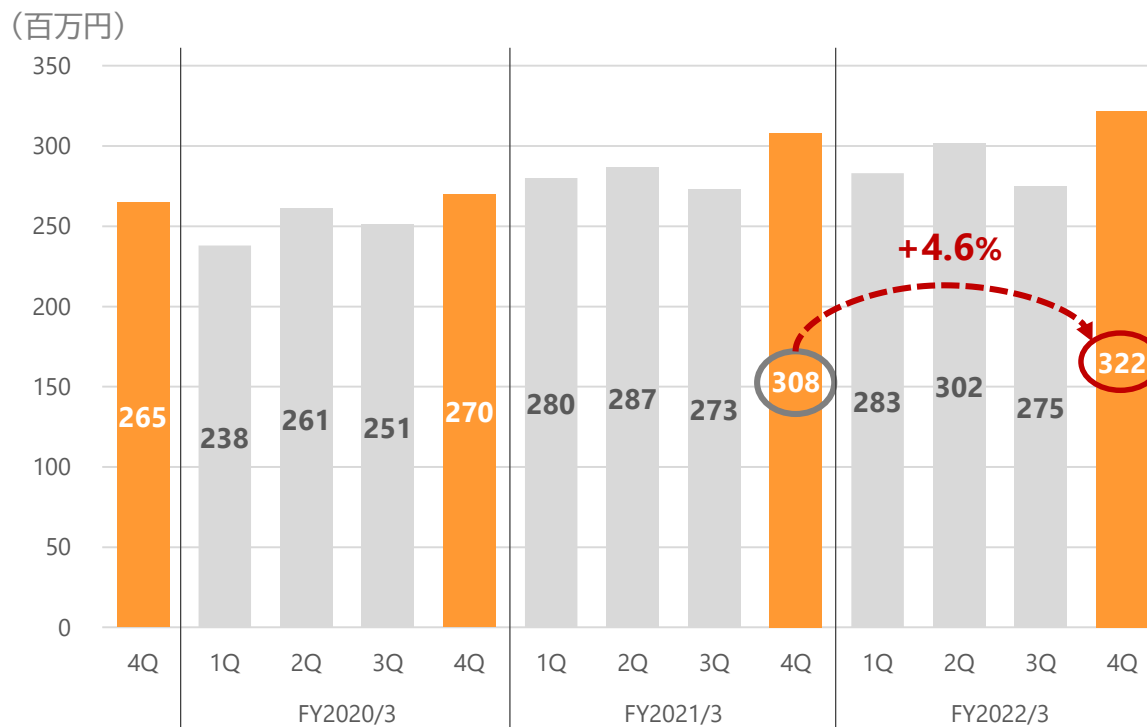


営業利益の増減分析

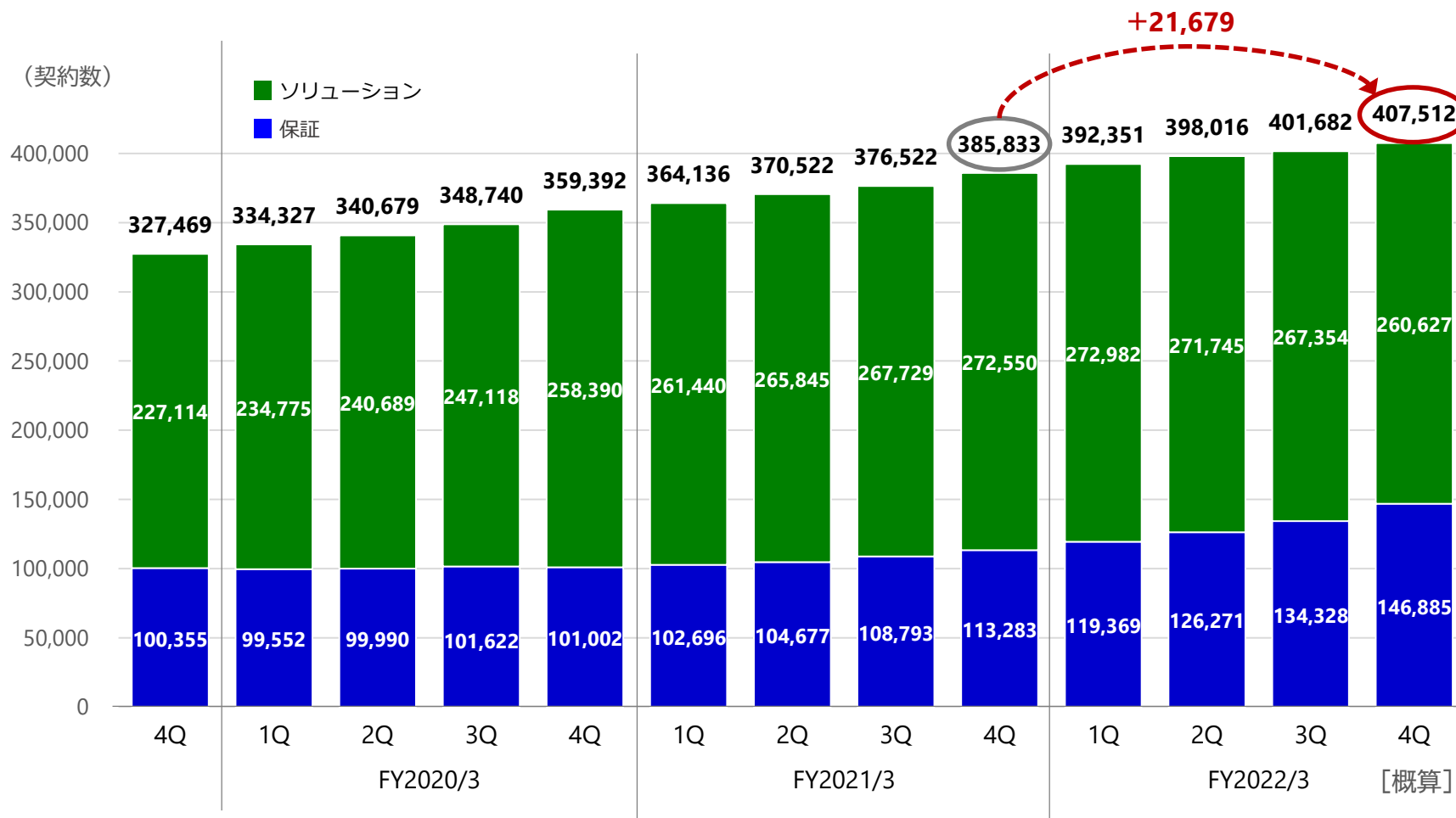
家賃債務保証の成長及び事業成長を見据えた基幹システム、センター開設に費用投下、来期以降の継続的な業務改善をフォロー



営業利益は着実に増加(営業利益率:23.9%)



保証分野が成長を牽引し、保有件数は着実に積み上がる



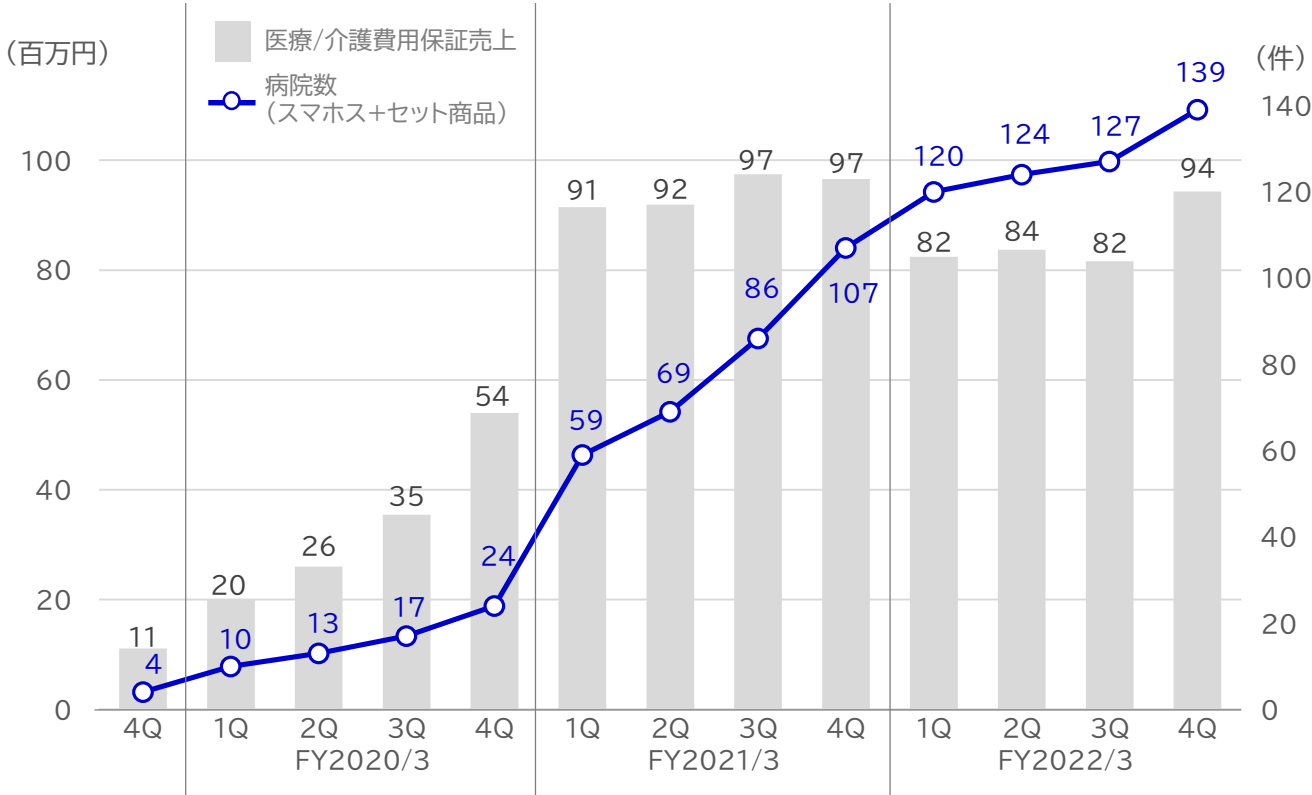
医療／介護費用保証の四半期売上推移

コロナ禍の影響を受けつつも下期は営業活動は活発化へ

提携医療機関は引き続き増加
 新規顧客の開拓により、第4四半期は既存顧客の保証料低下を吸収

提携先データ

- 連帯保証人代行制度スマホス
73 医療機関(対前期末+17)
19,608 病床数
- 医療費用保証付き入院セット
 及びその他商品
172 医療機関(対前期末+14)
34,404 病床数
- 介護費用保証
205 介護事業者(対前期末+6)



その他財務データ(貸借対照表)

(百万円)	2021/3 (前期)	2022/3 (今期)	増減額
流動資産	4,677	5,310	632
現金及び預金	3,075	3,268	192
売掛金及	252	254	2
立替金	1,537	2,011	474
その他	340	423	82
貸倒引当金	-527	-646	-119
固定資産	866	1,015	148
有形固定資産	51	95	44
無形固定資産	239	250	10
投資その他の資産	575	669	94
流動負債	1,551	1,774	223
内・契約負債	946	1,182	235
内・保証履行引当金	102	111	9
固定負債	59	96	36
純資産	3,933	4,454	520
総資産	5,544	6,325	780

家賃分野の事前立替型の
商品拡販に連動し増加

家賃債務保証の新規契約の増加
に伴い契約負債が増加(25%増)
※翌期以降の収益源泉

⇒月次更新保証型の販売増に
より、増加率は安定

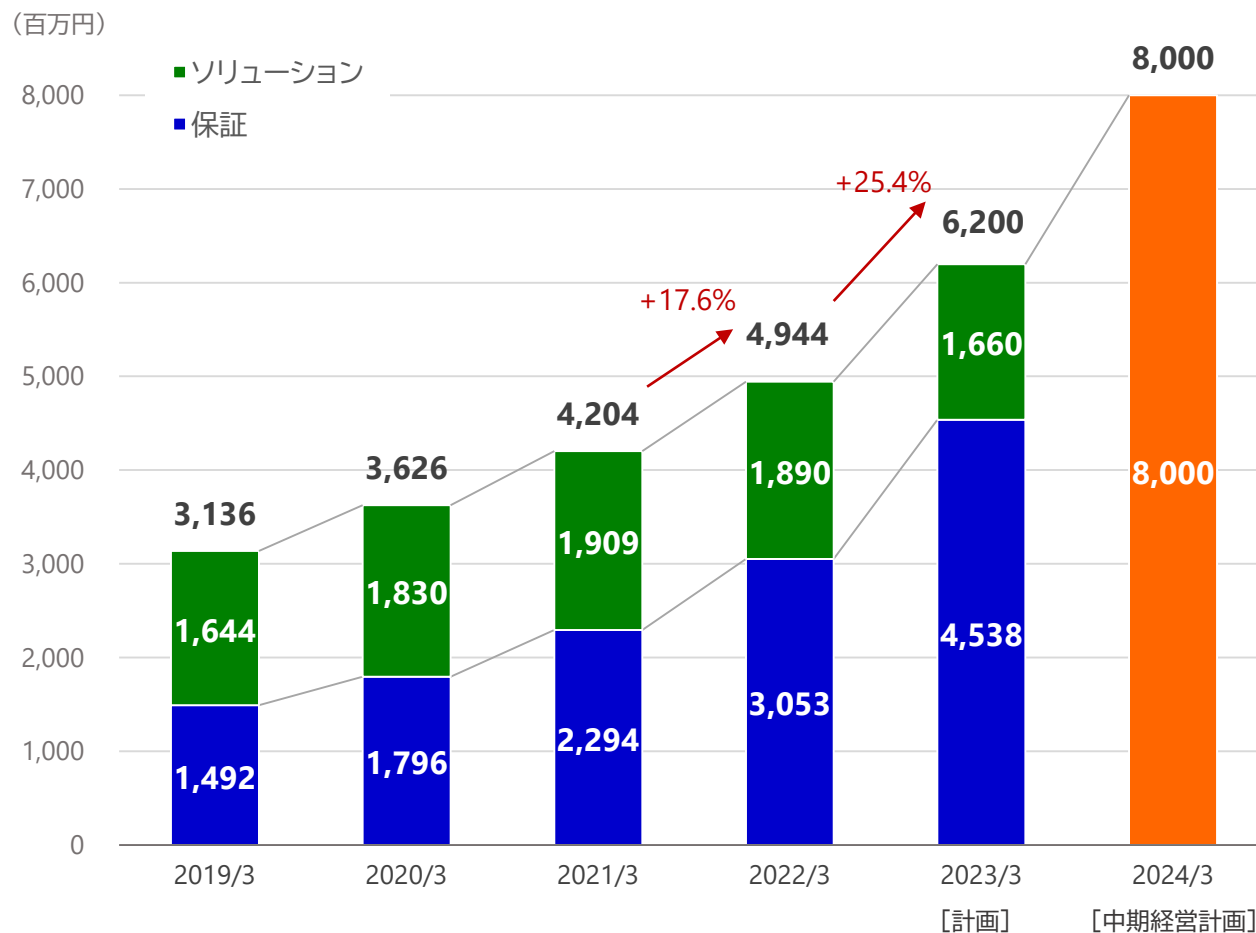
2. 2023年3月期 会社計画

売上は2022年3月期を超える成長計画

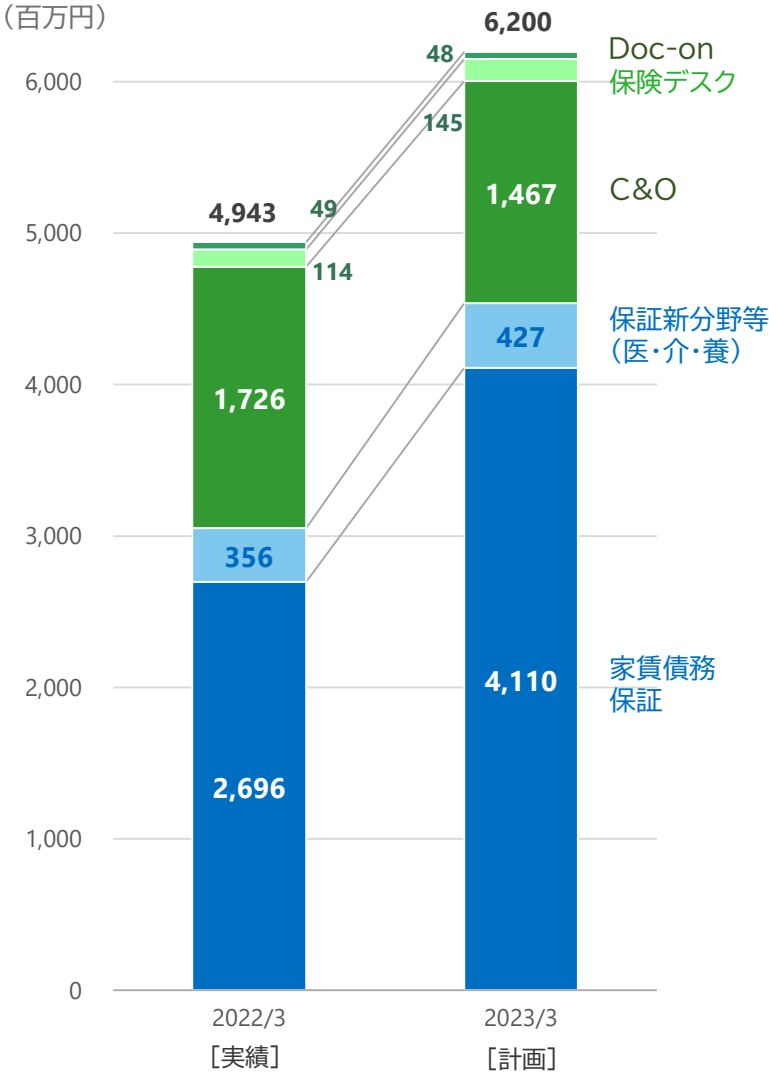
営業利益は、保証契約増への体制整備により貸倒コスト増加率一巡、センター開設一過性費用剥落

(百万円)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (計画)	(前期比)	上期計画
売上高	4,943	6,200	125.4%	2,960
営業利益	1,184	1,450	122.4%	695
(利益率)	24.0%	23.4%	-	23.5%
経常利益	1,179	1,450	122.9%	690
(利益率)	23.9%	23.4%	-	23.3%
純利益	779	910	116.7%	430
(利益率)	15.8%	14.7%	-	14.5%

家賃債務保証は、中期経営計画に対して想定超を計画
 医療費用保証は、最終年度に向けた契約の積み増しが課題



売上高の年間計画(詳細)



ソリューション事業

Doc-on及び保険デスクサービス

引続き拡販を進める

C&Oサービス

保証サービスへの切り替わり継続

保証事業

家賃債務保証

ストックの積み上げ及び月次更新型契約増により更新保証料大幅増

医療費用保証

保証料低下一巡、2022年3月期をベースにコロナ禍影響を計画に反映

介護費用保証

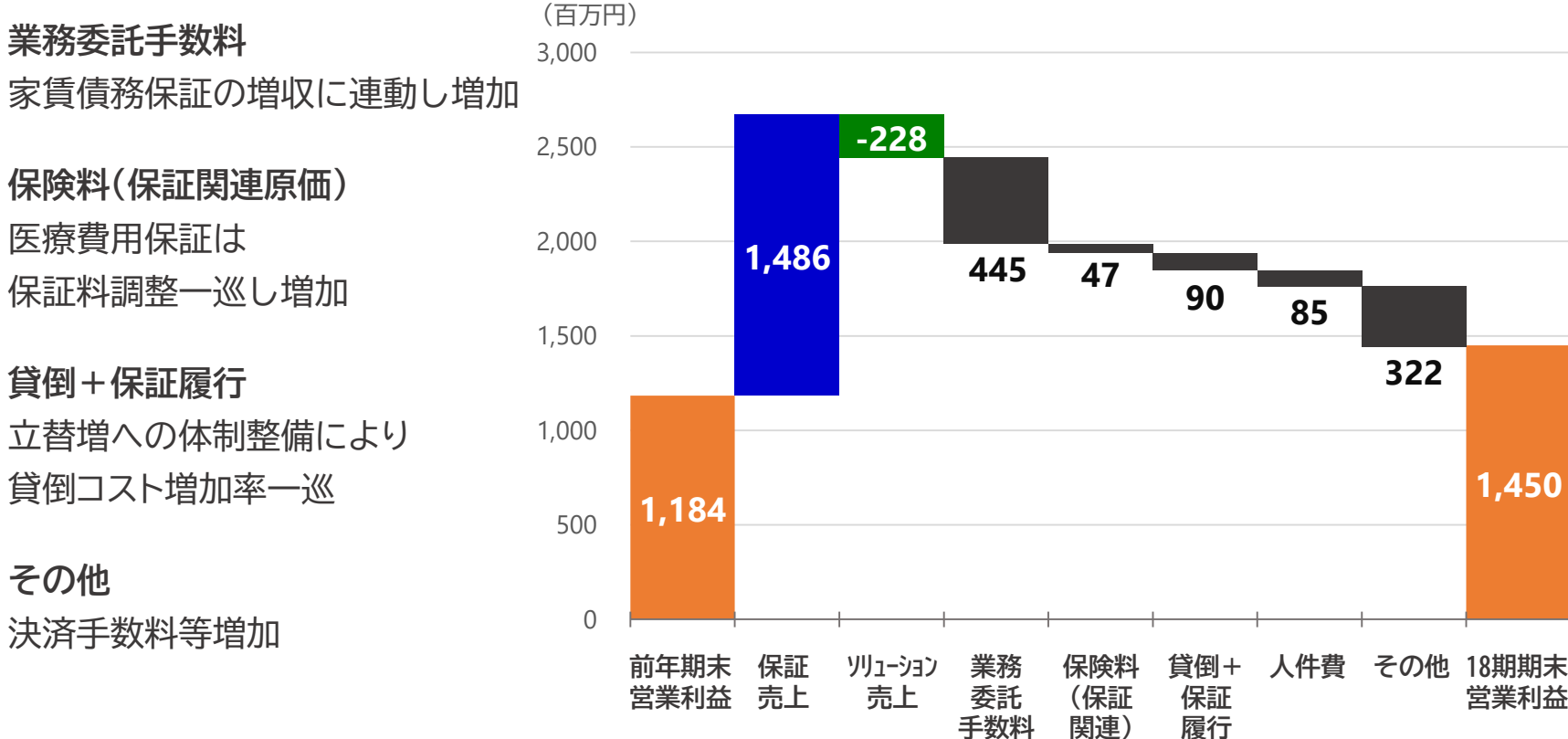
コロナ収束の傾向で、拡販に向けた取り組みを活発化

養育費保証

商品内容を改良へ、事業基盤を確立

営業利益(計画)の増減分析

保証契約増への体制整備により貸倒コスト増加率一巡、
センター開設一過性費用剥落



業務委託手数料

家賃債務保証の増収に連動し増加

保険料(保証関連原価)

医療費用保証は

保証料調整一巡し増加

貸倒+保証履行

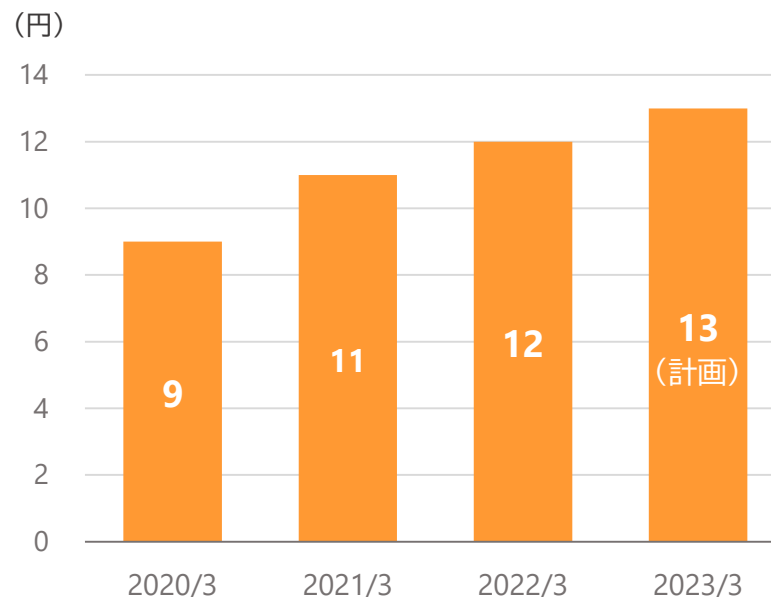
立替増への体制整備により

貸倒コスト増加率一巡

その他

決済手数料等増加

配当は株主への還元方針に基づき1円増配の13円を計画



3. 会社情報

会社概要 (2022年3月末時点)



- 会社名 : 株式会社イントラスト
- 設立年月日 : 2006年3月
- 資本金 : 10億44百万円
- 決算期 : 3月
- 代表取締役 : 桑原 豊
- 本社所在地 : 東京都千代田区麹町1-4
- 主な拠点 : 秋田、仙台、富山、名古屋、大阪、福岡、東京本社ANNEX
浜松ソリューションセンター
- 従業員数 : 231名(アルバイト・パート含む)
- 事業内容 : 保証事業・ソリューション事業



リスクを引き受ける保証事業とニーズに応えるソリューション事業を展開



保証事業

サービス+リスクを保証

家賃債務
保証



医療費用
保証



介護費用
保証



BtoB

不動産管理会社
医療機関
介護事業施設 等

養育費保証



BtoC

個人のお客様

ソリューション事業

専門的なサービスを提供

C&O
サービス



保険デスク
サービス



Doc-on
サービス



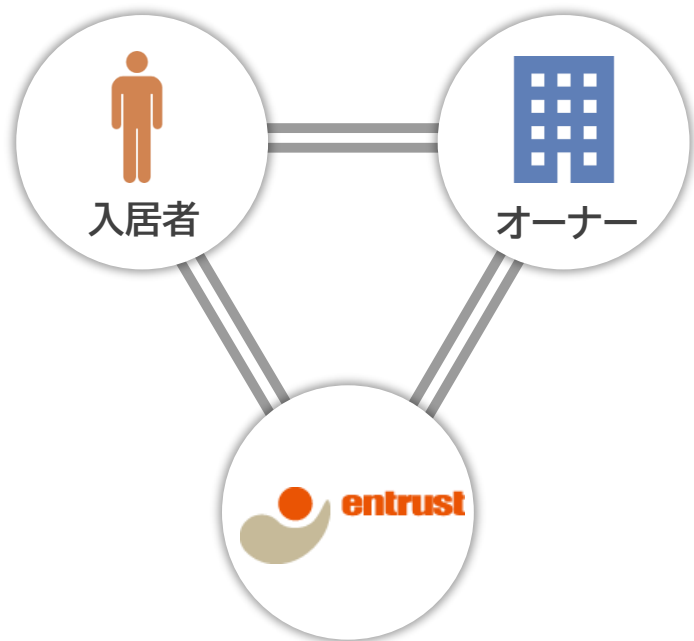
BtoB

不動産管理会社
保険会社
信販会社 等

保証事業

債権の滞納リスクを引き受け、保証に係る各種サービスを提供

例えば
家賃債務保証



他事業
へ展開



ソリューション事業

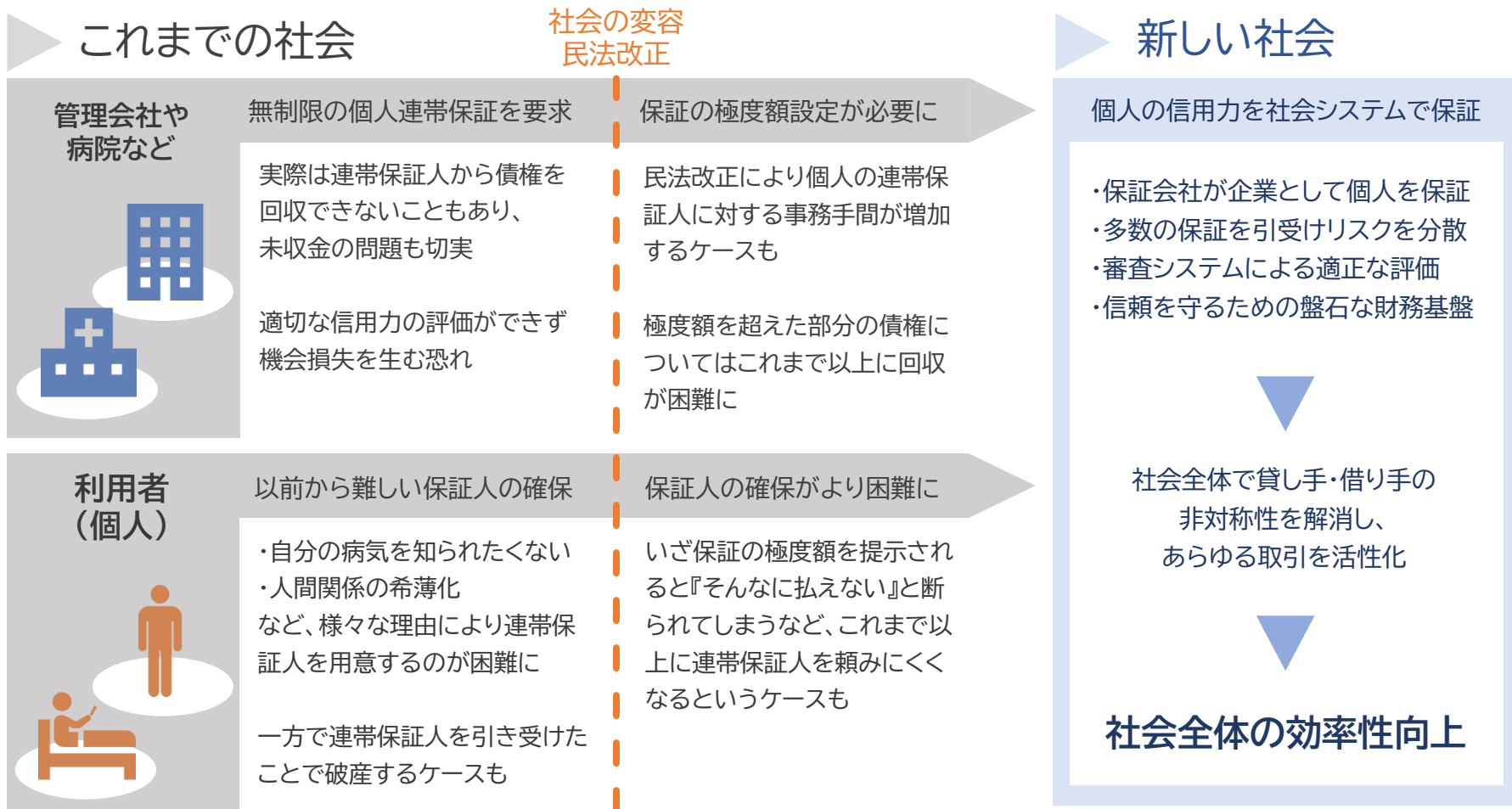
家賃債務保証で培ったノウハウで独自の業務支援サービスを提供

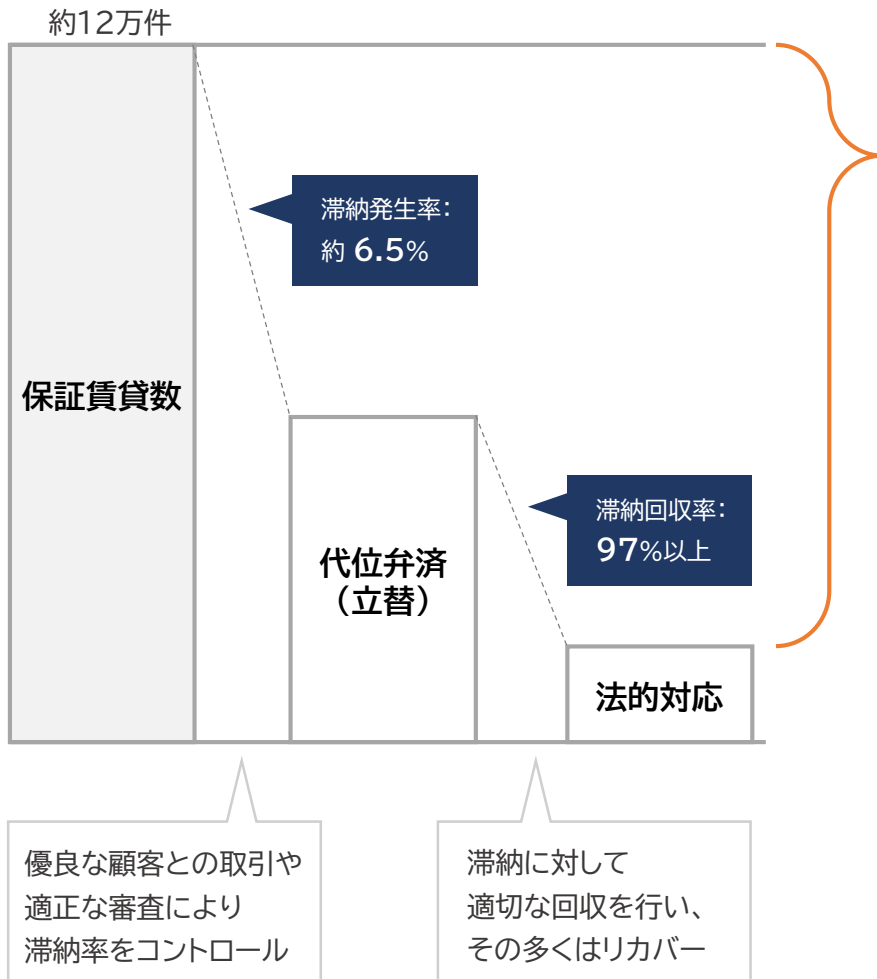
審査業務 	契約管理 	集金代行 	
滞納管理 	SMS送信 	調査訪問 	法対応支援 
保険加入促進 	未入金案内 	コールセンター 	決済機能 



固有の顧客ニーズに対して
専門サービスで解決する

これまで地縁・親族で支えていた個人の信用を 保証会社が企業として保証する社会へ





このギャップが利益の源泉

利益を生み出す3つの強み

評価

- 的確なリスク評価による緻密な運営
- 無理な拡大ではなく、優良な貸主/借り手を選択していくことで、経済性が向上(高利益率)
- 顧客層拡大の好循環が生まれる

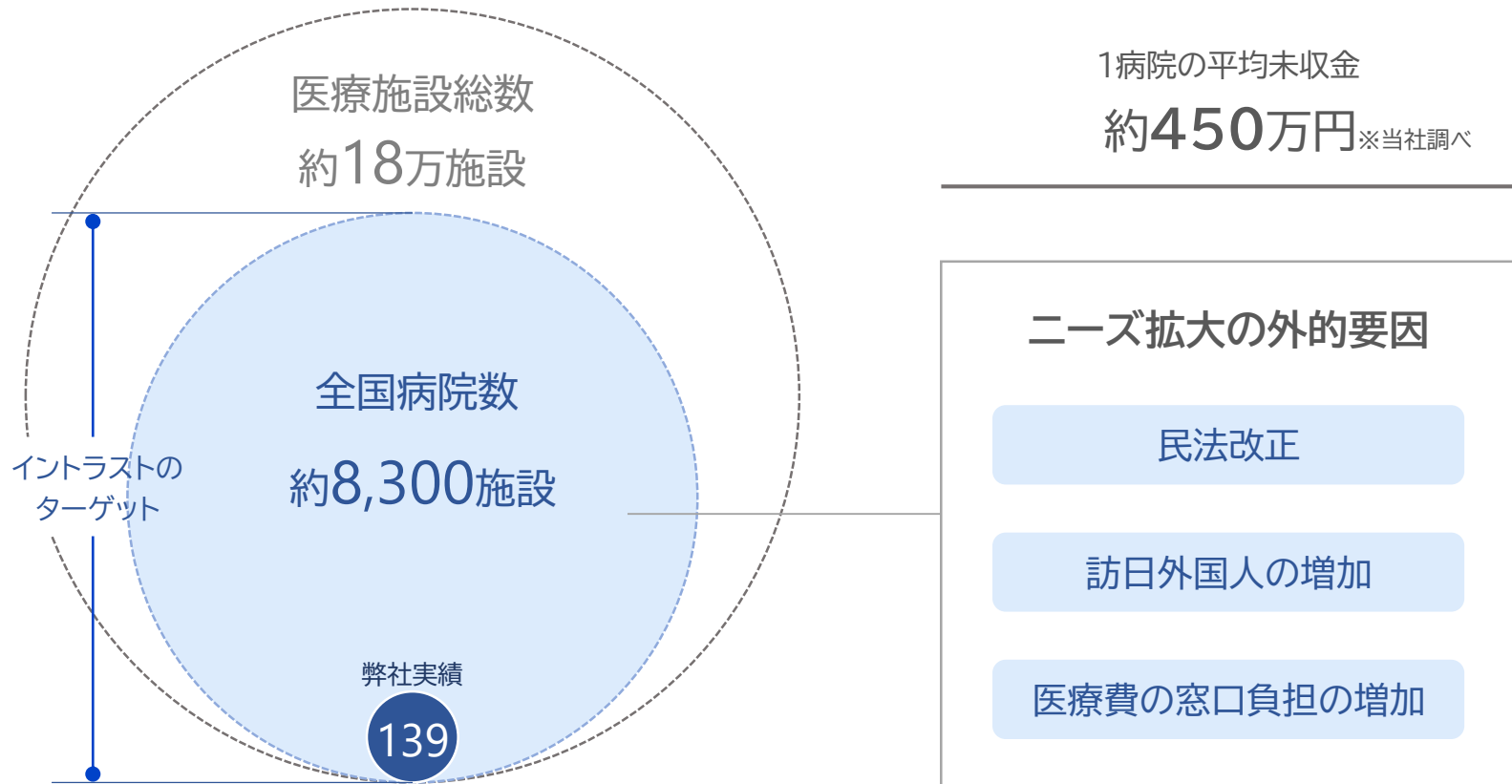
回収

- コンプライアンス重視の回収(上場時も厳しく審査され証明)
- 正当な法的処理を着実に実行
- 専門スタッフによる効率的な回収スキームとそれらを支えるIT/インフラ

専門性

- 審査や回収ノウハウ(専門性)の積み上げ
- クライアント(不動産管理会社・病院など)のスタッフを不慣れな業務から解放
- ソリューション提案によるニーズの解決

大手損保会社との提携により、病院への導入を加速度的に増加させる

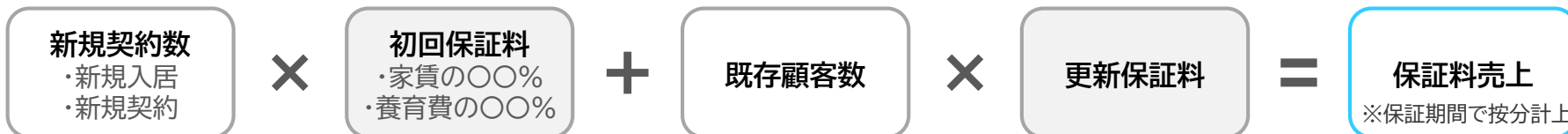


保証事業における主要KPIと財務の構造

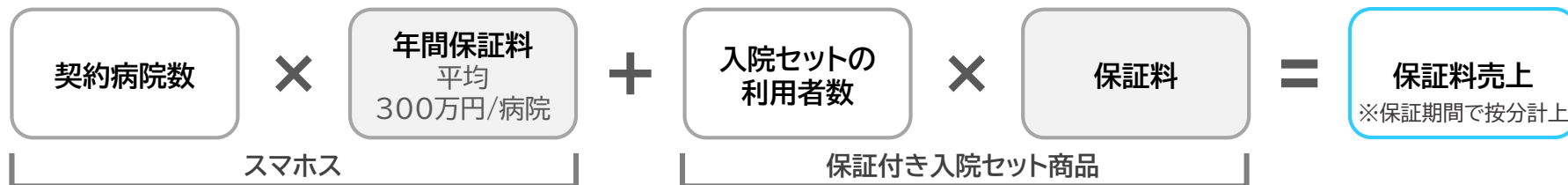


主要KPI

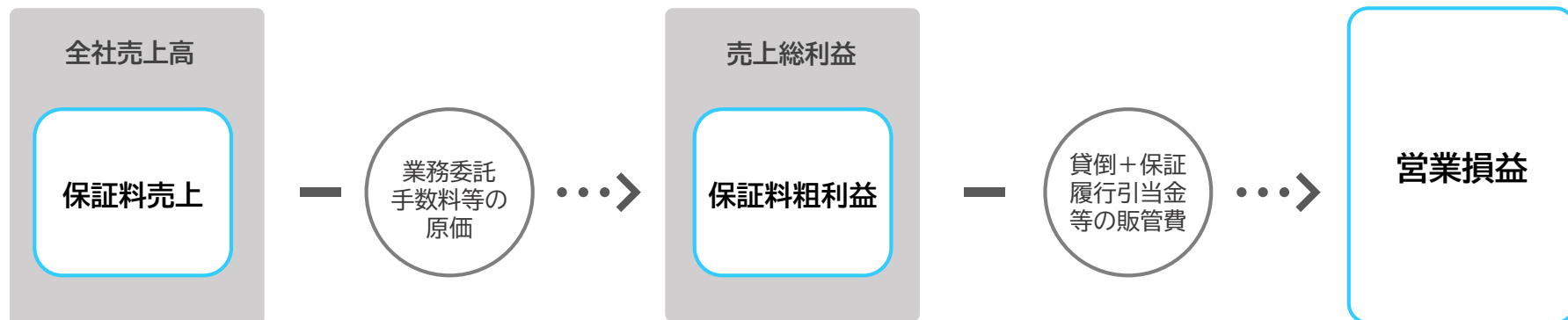
家賃・介護・養育費保証



医療費用保証



財務構造



イントラストは保証スキームで社会インフラを
提供しサービスと流通の活性化を実現します

株式会社イントラスト



資料中の業績見通しに関する記述は現時点における情報に基づき判断したものであり、実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等があります。

本資料に関するご意見・ご質問、及びその他IRに関するご意見・ご質問は下記窓口までお問い合わせください。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR
Email： ent-ir@entrust-inc.jp